

製品名: CD26 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08312

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	105kDa

抗原情報

遺伝子名	DPP4 DPP4; ADCP2; CD26; Dipeptidyl peptidase 4; ADABP; Adenosine deaminase complexing protein 2; ADCP-2; Dipeptidyl peptidase IV; DPP IV; T-cell activation antigen CD26; TP103;
別名	CD26
遺伝子 ID	1803.0
SwissProt ID	P27487
免疫原	抗血清はヒト DPP4 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 350-400

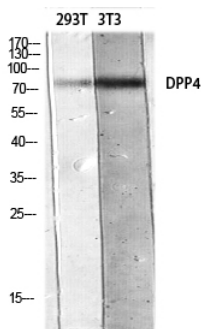
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アデノシンデアミナーゼ複合タンパク質-2およびT細胞活性化抗原 CD26 と同一である。これは内因性膜糖タンパク質であり、ポリペプチドのN末端からX-プロリンジペプチドを切断するセリンエキソペプチダーゼである。[RefSeq 提供、2008年7月]触媒活性: ポリペプチドからN末端ジペプチド、Xaa-Yaa-|-Zaa-を遊離させる。ただし、Yaaがプロリンであり、Zaaがプロリンでもヒドロキシプロリンでもない場合に優先的に遊離させる。機能: 末端から2番目の残基がプロリンである、置換されていないN末端を持つポリペプチドからN末端ジペプチドを順次除去する。T細胞の活性化に関与する。オンライン情報: ジペプチジルペプチダーゼ4のエントリー,PTM: 可溶性型 (SDPP) は膜型 (MDPP) からタンパク質分解によって誘導される。類似性: ペプチダーゼ S9B ファミリーに属する。DPPIV サブファミリー。サブユニット: セプラーゼ (FAP) とのホモ二量体またはヘテロ二量体。組織特異性: 小腸の分化度の低い陰窩細胞および成熟した絨毛細胞に発現する。結腸ではごく低レベルで発現する。、

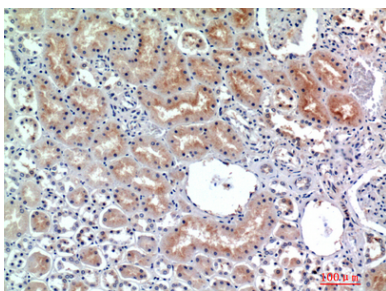
研究分野

免疫学

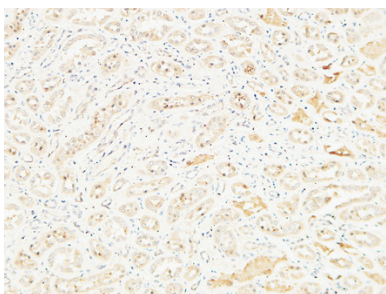
画像データ



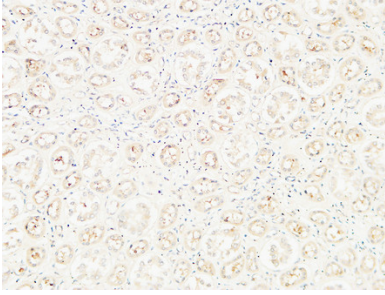
DPP4 抗体を用いた 293T 3T3 の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈し、二次抗体は 1:20000 に希釈した。



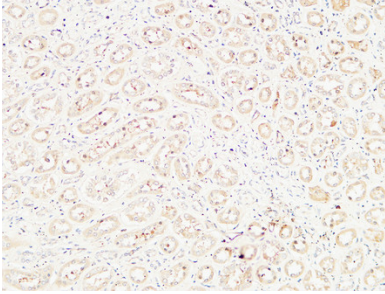
パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高压高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。